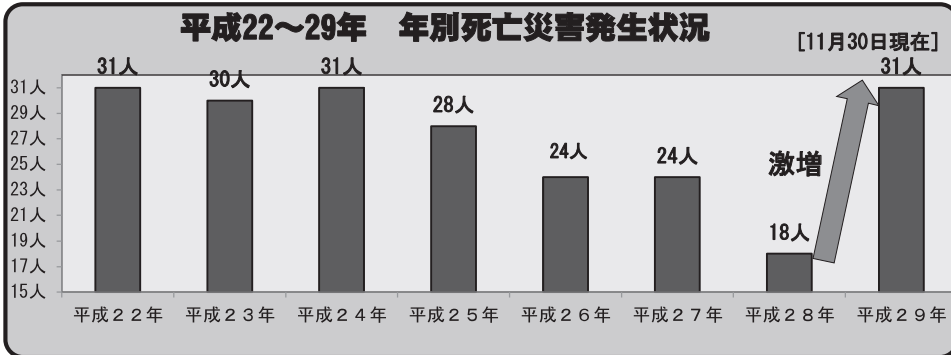




日本一安全・安心 (Safe Work, Change Work HIROSHIMA) な職場を!

# 死亡災害 多発!! (平成28年18人、平成29年11/30現在31人)

[死亡者が昨年1年間の18名を超え、さらに平成24年の31名と同数に達しました。]



## 【平成29年 死亡災害事例】 [建設機械等の機械操作、転落・墜落等、熱中症、酸欠に係る主な事例]

| No. | 管轄署別 | 発生月 | 性別 | 年齢   | 経験年数  | 事故の型  | 起因物   | 災害発生状況   |
|-----|------|-----|----|------|-------|-------|-------|--|
| 1   | 福山   | 10月 | 男  | 50歳代 | 10～6  | 激突され  | 掘削用機械 | ドラグ・ショベルで、コンクリートブロックを吊り上げる作業中、バケットが下がり、ブロックの玉掛け作業を行っていた被災者の頭部が、バケットとブロックの間に挟まれた。 |
| 2   | 広島中央 | 10月 | 男  | 30歳代 | 1～    | 激突され  | クレーン  | 鉄板(約500kg)にハッカーを掛け、2.8t天井クレーンで、吊り上げたところ、荷が被災者の方に振れて、鋼材の山と吊荷に被災者が挟まれた。            |
| 3   | 福山   | 10月 | 男  | 60歳代 | 1～    | 墜落、転落 | 建築物   | 碎石場内に構築したブロック積み法面の補修で、転圧を行っていたところ、法面が崩壊し、ドラッグ・ショベル、タンパーとともに転落し生き埋めになった。          |
| 4   | 広島中央 | 10月 | 男  | 60歳代 | 40～31 | 墜落、転落 | 建築物   | 送信所撤去工事現場において、建物から墜落した。  |

### 【ドラグショベル・フォークリフト・高所作業車の運転中の死亡災害】

|    |     |    |   |      |       |            |         |   |
|----|-----|----|---|------|-------|------------|---------|---|
| 5  | 三次  | 4月 | 男 | 40歳代 | 30～21 | 墜落、転落      | 掘削用機械   | ドラグ・ショベルが路肩を踏み外して調整池に転落した。  |
| 6  | 三原  | 2月 | 男 | 70歳代 | 10～6  | はさまれ、巻き込まれ | 掘削用機械   | ミニドラック・ショベルで後進中、木の枝が背部に当たり運転席との間に挟まれた。                            |
| 7  | 呉   | 8月 | 男 | 50歳代 | 20～11 | はさまれ、巻き込まれ | トラック    | 重機の整備を行っていたところ、後進してきた散水車に激突され、重機と散水車との間に挟まれた。                     |
| 8  | 廿日市 | 3月 | 男 | 20歳代 | 1～    | 転倒         | フォークリフト | フォークリフトに荷を積載しフォークを上昇させたままの状態の後進し旋回したところ、転倒し下敷きになった。               |
| 9  | 広島北 | 8月 | 男 | 40歳代 | 5～2   | 墜落、転落      | フォークリフト | フォークリフトを操作して荷のピッキング作業をしていたところ、後進中のフォークリフトごとプラットフォーム(高さ約1m)から墜落した。 |
| 10 | 三原  | 7月 | 男 | 20歳代 | 5～2   | 墜落、転落      | 高所作業車   | 塗装作業中、高所作業車が逸走し高所作業車ごと約5メートル下の船台に転落した。                            |

### 【溶接作業中に自身の作業服に着火しての死亡災害、脚立からの墜落死亡災害】

|    |   |    |   |      |       |             |         |  |
|----|---|----|---|------|-------|-------------|---------|--|
| 11 | 呉 | 9月 | 男 | 60歳代 | 10～6  | 墜落、転落       | はしご等    | 工場内の壁面パネルを外す作業を一人で行っていたところ、脚立(高さ1.1m)から墜落した。 |
| 12 | 呉 | 2月 | 男 | 60歳代 | 50～41 | 高温・低温の物との接触 | アーク溶接装置 | 台船の外板の亀裂箇所の溶接作業中、作業服に着火した。                   |

### 【熱中症、酸欠死亡災害】

|    |      |    |   |      |     |             |         |   |
|----|------|----|---|------|-----|-------------|---------|---|
| 13 | 尾道   | 4月 | 男 | 30歳代 | 5～2 | 有害物等との接触    | 異常環境等   | 台船の船内に立ち入ったところ、内部が酸素欠乏状態となっていた。[外国人労働者]救助に入った外国人労働者も被災した。                                 |
| 14 | 三原   | 8月 | 男 | 50歳代 | 5～2 | 高温・低温の物との接触 | 高温・低温環境 | 市道等維持補修の除草作業を終日行って会社に戻り、その後、事業場敷地内の駐輪場で意識不明の状態で見倒れているところを発見され、2ヶ月弱入院していたが、9月下旬に死亡した。(熱中症) |
| 15 | 広島中央 | 7月 | 男 | 20歳代 | 1～  | 高温・低温の物との接触 | 高温・低温環境 | 屋根上で金属製スレートカバーを運搬する作業を行っていたが、作業が終了し地上にて点呼を行った。その後、屋根上で意識を失った被災者が発見された。(熱中症)               |

安心して働ける職場をめざそう!



重点

墜落・転落災害、飛来・落下災害、交通事故、機械災害の防止を重点として、労働災害防止対策に取り組みましょう!

墜落・転落災害

飛来・落下災害

交通事故

機械災害